

浦和レッズ・ハートフルサッカー
三菱重工主催歓迎レセプション麻妻公使挨拶文
(2018年7月22日)

【呼びかけ】(主催1名+来賓4名)

三菱重工アジア・パシフィック総代表 河相健(かわいけん)様、
浦和レッドダイヤモンド取締役 植木将彦(うえきまさひこ)様、
ハートフルサッカー・キャプテン 落合弘(おちあいひろし)様、
ベトナムフットボール連盟総書記 レー・ホアイ・アイン様、
フードン・フットボールクラブ副会長 チュー・クアン・ハー様、

【本文】

日本大使館の麻妻です。本日は、浦和レッズ・ハートフルサッカー歓迎レセプションにお招きいただき感謝申し上げます。また、日越外交関係樹立45周年の記念すべき今年も、浦和レッズ・ハートフルサッカーを開催頂き、スポーツを通じて日本とベトナムの交流へご尽力をいただいたこと、感謝申し上げます。

今年2018年、日本とベトナムは、外交関係樹立45周年を迎えています。日本とベトナムの間の「絆」はこれまで以上に強くなっており、昨年は、天皇皇后両陛下の初めてのベトナム御訪問、安倍総理とフック首相の相互訪問等たゆまない首脳レベルの交流がありました。

今年も同様の交流が維持されています。先般、クアン国家主席ご夫妻が国賓として訪日されましたが、そのときの成果の一つとして、

日越共同声明において、スポーツ交流の更なる促進が確認されました。

今回のハートフルサッカーのベトナム開催は、まさにこの共同声明の具現化とも言えるものであります。また、日本とベトナムの関係の更なる強化を強く後押しいただく取組みでもあり、日本政府を代表して、この取組みの実現に御協力いただいた方々に感謝申し上げます。

サッカーはベトナムで一番人気のスポーツであります。ベトナムチームは着実に強くなっています。今年1月には、U23がアジアカップで準優勝しました。次は2020年の東京五輪、2022年及び2026年のワールドカップに出場できることを期待しております。

今回のハートフルサッカーを通じ、一人でも多くのベトナムの子どもたちが、心からサッカーを好きになることを期待します。そして、「思いやり」「信頼」「一生懸命」という、「人間の成長」にとってとても大切な要素を学ぶ機会となることを切に希望します。

最後に、皆様の御健勝、ハートフルサッカーの成功、日越関係の更なる発展を祈念し、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。

(了)